

Support Program

# 研修

NGO・NPO

サポートプログラム紹介

# 講座

## 海外派遣研修編

### マレーシア

地球環境基金では振興事業の一つとして、環境保全活動に取り組むNGO・NPOを対象に、様々な研修講座を実施しています。今回は、去る8月4～5日の2日間にわたり開催された海外派遣研修の事前研修の様子をご紹介します。



## 平成24年度研修講座一覧

テキストを見ながらマレー語の会話練習をする研修生

■グループ毎に研修目標を検討した1日目  
8月4～5日の2日間、国際文化会館（東京都港区）の会議室で事前研修が開催されました。初日は、マレーシア事情や日本のNGO活動の概要を学んだ後、各グループに分かれそれぞれの研修目標について話し合いました。ちなみに、このグループは研修生の英語力を考慮し、バランス良く分けられたものです。また、1日目の最後には、現地研修後に作成する報告書案について事前検討を行いました。研修生個人のテーマについては各自が作成し、グループテーマについてはそれぞれの役割分担を決めました。

■現地に着いたら「シアパナカム？」  
2日目の最初は、マレー語会話とマレーシア社会のマナーについて。講師は、今回の現地研修の全行程に同行する社団法人日本マレーシア協会専務理事の新井卓治さんです。



また、今回の研修には「村人への聞き取り」というプログラムが含まれているため、それをどのように行うかについて説明。フィールド調査の手法には、RRA (Rapid Rural Appraisal) 簡易型農村調査、PARA (Participatory Rural Appraisal) 参加型農村調査、PLA (Participatory Learning and Action) 参加による学習と行動」等がありますが、今回はRRAで研修を行い、調査ツールとしては「インタビュー」と「描画」を使います。

「言葉で尋ねるより、絵を描いてもらった方が分かることがあります。例えば、アフリカのある地域で男女別々に地図を描いてもらったところ、男性はほぼ正確に描き、女性は川の位置を実際より遠くに描きまし

### ■海外派遣研修とは？

海外派遣研修は、開発途上地域で環境NGO・国際協力活動を目指す人を対象とするもので、平成24年度はマレーシアが研修地です。長期コースは8月25日～9月13日の20日間、短期コースは8月25日～9月3日の10日間実施します。参加者は38名の応募者から選ばれた10名（男性3名・女性7名）で、年齢も10代～60代と幅広い層になっています。

### ■事前研修の内容

事前研修は、現地での実地研修をより的確に進めることを目的に、次の内容で構成されています。

- マレーシア事情、日マ関係、簡単なマレー語会話、マレーシアにおけるマナー
- 日本のNGO活動の現状
- 研修目標の検討と企画
- 開発途上国におけるフィールド活動の企画と活動手法
- 前年度の海外派遣研修生の体験報告と質疑応答
- マレーシア研修スケジュールの説明 等々



先輩研修生による体験報告

まずは、挨拶の仕方から。男性同士の場合は、片手で軽く握手し、その手を自分の胸に当てます。女性同士なら、両手で握手した後、同じように手を胸に当てる、と仕草を交えて説明。すると、研修生の一人が「男と女の場合はどうするのですか？」と質問。「女性が手を差し出してきたら握手してもかまいません。でも、男性から手を出すのはNG。軽く会釈するといいでしょ」とのアドバイスがありました。

マレー語については、「現地に着いたら、簡単なことでもいいので、マレー語で話そうにしましょう。それだけでお互いの距離がぐっと縮まります」ということで、早速、研修生同士で会話を練習することに。自己紹介は「シアパナカム？（あなたのお名前は？）」「ナマサヤ※※（私の名前は※※です）。会議室中に「シアパナカム？」「ナマサヤツバサ」、「シアパナカム？」「ナマサヤスキ」とマレー語が飛び交います。その後、ホームビジットで役立つ知識や生活習慣等の話があり、あつという間に最初の講義が終了しました。



インタビュー案を検討するグループの仲間

た。毎日その川に水汲みに行っている女性は、その辛さを距離として表現したのです。これだけでもジェンダーの差があることが分かりますね。今回は模造紙を持って行くので、何を描いてもらうかグループごとに考えてください」と、課題が出されました。

しかし、インタビュア案と絵のテーマについて検討するものの、時間内に完成させることができません。富岡准教授から「出発するまではメールで問い合わせを受け付けますし、現地に行ってから相談に乗りますが、準備だけはきちんとしておいてください」というお言葉が。でも心配は不要です。研修事務局は最初からこうした事態を想定。研修者向けにメーリングリストを作成し、研修地に出発するまでフォローする体制をとっています。

■フィールド調査について専門家が講義  
午前11時から昼休みを挟み午後2時までは、現地でのフィールド調査をどう進めるかについての講義と実習が行われました。講師は、JICAをはじめ国際協力一筋30年、訪れた国は43カ国という、大ベテランの富岡文明日本大学准教授。最初に「ODAとは何か」「ODAの予算はどう使われているか」「プロジェクトをどう定義するか」といった国際協力の概論等についての講義がありました。



富岡准教授による講義シーン

■先輩研修生から貴重なアドバイス  
午後2時からの1時間は、前年度インドネシアで実施された海外研修に参加した清水溪さんと木村江美さんが体験を報告。研修内容の紹介後、後輩に向けて「事前リサーチはしっかりと」「いつでもメモを忘れずに」「自分のテーマを常に念頭に」「現地はとても暑いので汗が出る。梅干しは必携」等々、体験者ならではのアドバイスがありました。



研修生とスタッフの皆さん（国際文化会館の中庭で）

最後に、現地での研修スケジュールについて説明があり、事前研修を無事終了。研修生の皆さんはどのような成果を持ち帰るのでしょうか。海外研修の報告は、次号（2013年3月発行予定）でご紹介しますので、お楽しみに！

地球環境基金では振興事業の一つとして、環境保全活動に取り組むNGO・NPOを対象に、様々な研修活動を実施しています。平成24年度は次の16講座を実施します。詳しい内容は、ホームページをご覧ください。 <http://www.erca.go.jp/jfge/>

### ■環境保全戦略策定能力の向上に関する研修講座

| 研修講座名                                               | 対象地域  | 概要                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境保全戦略講座（地球温暖化防止、生物多様性保全、循環型社会形成、環境教育、環境アセスメントの5分野） | 全国    | 環境政策の重点分野や環境アセスメントを戦略的に行うため、環境保全活動の現状と課題を整理し、最新の情報を理解した上で今後の方向性について議論等を行い、環境NGO・NPOの専門性や技術力の向上を図ります。                                               |
| 環境保全戦略講座（重点分野：環境とエネルギー）                             | 全国2カ所 | 環境分野の中から、時事的な環境問題を考慮した重点的なテーマについての講座を全国2カ所で開催。今年度は「環境とエネルギー」をテーマに環境保全活動の現状と課題を整理し、最新の情報を理解し、共有した上で、今後の方向性について議論等を行うことにより、各地域の環境NGO・NPOの活動の促進を図ります。 |

### ■国際協力の推進に関する研修講座

| 研修講座名  | 対象地域  | 概要                                                                                    |
|--------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 海外派遣研修 | 開発途上国 | 民間環境活動団体のスタッフ等を海外の開発途上地域の活動現場等に派遣し、開発途上国の環境問題の現状などについて理解を深め、今後の環境保全活動に役立つ知識や技術を習得します。 |

### ■地球環境基金助成事業の進捗状況の把握に関する研修講座

| 研修講座名           | 対象地域 | 概要                                                               |
|-----------------|------|------------------------------------------------------------------|
| 地球環境基金助成団体活動報告会 | 全国   | 一般助成の継続2年目の団体を対象に、各団体の活動状況を報告するとともに、効果的な活動を行うため外部の専門家等が助言等を行います。 |

### ■地域の環境NGO・NPO活動の推進に関する研修講座

| 研修講座名                      | 対象地域            | 概要                                                                                                      |
|----------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境NGO・NPO活動推進・組織運営講座       | 北海道、中部・北陸、近畿、四国 | 環境保全活動に取り組むNGO・NPOが、地域において環境分野の課題解決に向けた取り組みを促進させ、又は組織運営に係る知識、技術を習得することにより、活動推進力や組織運営力を向上させる講座です。        |
| 環境NGO・NPOのための講師派遣による組織運営講座 | 西日本             | 環境保全に取り組むNGO・NPOに、専門家を講師として派遣し、会計・労務・広報等について指導・助言を行い、組織基盤の強化を図る講座です。                                    |
| 環境NGO・NPOLevelアップ研修        | 関東・甲越、中国、九州・沖縄  | 地域において環境保全活動に従事する者を対象に、環境保全に係る専門的知識・技術を習得するため、段階的にレベルアップが図れるよう年間を通じたあるいは連続した複数回の研修を行い、次世代を担うリーダーを育成します。 |